

「地域内循環を実現したい」

昨年8月に、郡上エネルギーという会社を設立し、事務所としてHUBGUJOの仲間になりました。代表の小森胤樹(こもりゆき)といいます。

私は、何を商売にしているかといいますが、売電会社です。2016年に電力が完全自由化され、個人、会社など関係なく全ての人が、電力会社や料金サービスを自由に選べるようになりました。「電力の購入先を切り替えませんか、安くなりますよ」というCMを見た人も多いと思いますが、その選択先として、郡上の中に電気を販売する会社を作りました。

では、何のために作ったかというところ、地域内循環を実現するためです。地域内循環という言葉は初めて聞く人もいらっしゃると思いますが、簡単に説明しますと「地域内(郡上市内)に入ってきたお金を、なるべく地域の中で回しましょう」という考えです。

人口減少は避けて通れません。人口減少は地域内に入ってくるお金が減っていく、だからこそ、入ってきたお金を、地域外で消費してしまつてはなく、なるべく地域の中に支払う(買う)ことをす

ると、地域経済に回るお金は増えます。その一つの方法として、電気を地域内の会社から購入してもらえると、当たり前前に毎月支払っているお金が地域に落ちるといいう仕組みができます。

郡上エネルギーは、この事業で得られた利益を地域に還元していくことを目的として、郡上市民4人が出資して作った市民電力会社です。市民のみなさんに還元する仕組みを作っていきますのでご期待ください。応援よろしくお願ひします。

☎ 問 HUBGUJO
67・9239

◀1899年(明治32年)に、八幡町に設けられた岐阜県で最初の商業水力発電所の記念石碑に刻まれたマーク



▶先人の思いを引き継ぐためにデザインした郡上エネルギーのロゴマーク

水柱

郡上市消防本部



暖かい日が続き、桜も咲き始め、徐々にファンヒーター等の石油暖房機器の使用も少なくなってきました。来季にすぐ使えるように、この時期にお手入れをしましょう。

石油暖房機の片付け方

①残った灯油の抜き取り

機器内に灯油が残った状態で収納すると、次の使用時に灯油が変質し、燃焼不良などによって機器を傷める原因になる場合があります。

残った灯油は、手動ポンプなどを使用して、できるだけ抜き取るようにしましょう。

また、余った灯油は油汚れの洗浄用に使用するなど有効利用するか、灯油を

購入した店舗などに処理を依頼しましょう。

②各種フィルターの掃除

カートリッジタンクを受け取る部分にある油フィルターや、空気取り入れ口にある網目フィルター、温風送風用取



り入れ口のフィルターなどを清掃します。

③天気の良い日に干す

ファンヒーター及びカートリッジタンクは、キャップを外し、日光が当たる場所で干します。



風通しの良い所で数時間置いておくと、水分や拭き取れなかつた灯油が蒸発し、内部のサビや灯油の変質を防ぐことができます。

④機器の電池を抜く

点火用電池を入れたままにすると不意に点火したり、電池が液漏れを起こすなど、機器を傷めてしまうことがあります。

⑤保管は屋内に

庭先にあるスチール製物置に収納した場合、真夏の直射日光下では、温度が80度近くまで上昇し、内部機器が異常を起こすことがあります。



☎ 問 消防本部
67・01119

電源立地地域対策交付金を活用して整備しました

市では、平成29年度電源立地地域対策交付金事業を活用し、美並町上田の市道木尾本線(延長47m)の側溝及び舗装の改良工事を行いました。

電源立地地域対策交付金は、発電用施設を設置する地元の理解促進等を図ることを目的に、立地地域や周辺地域で行う公共施設整備事業などに対して交付されるものです。

